

2011 AUTOBACS SUPER GT 第3戦  
SUPER GT INTERNATIONAL SERIES MALAYSIA

2011年6月18日(土)~6月19日(日)

**決勝 レポート**

46 Laps



場所:セパン国際サーキット / 天候:晴れ / コース:ドライ / 気温:34℃ / 観客動員数:36,000人

SUPER GT 2011シリーズ第3戦の開催地、セパン国際サーキット(マレーシア)の観客席は、現地のGTファンで埋め尽くされ、盛り上がりを見せていた。

6月19日(日)

<決勝 / 午後4時~>

マシントラブルにより不本意な17番グリッドからのスタートになってしまった事は残念であるが、チーム一丸となり上位を目指す意気込みは前日より強い。今回のスタートドライバーは佐々木孝太。佐々木は昨日のうっ憤を晴らしているような素晴らしい攻めの走りを見せる。1周目、佐々木はコントロールラインに戻ってきた時点で脅威の7台抜きをし10位に浮上していた!!



その後、27周まで安定した走り続け、暫定3位の状況でピットインし山野哲也に代わる。29周目、全車ピットイン給油を済ませた時点で#62 R&D SPORT LEGACY B4は10位につけた。山野は灼熱の中、いつもの冷静な走りで前車を追う。



www.rdsport.net

36週目、#33をかわし9位、37周目には#2を抜き、結果8位でチェッカーフラッグを受けた。FIA-GT 勢が上位を占める中、素晴らしい結果を残す事が出来た。なお、500クラスの優勝は#1 ウイダーHSV-010、300クラスは#4 初音ミク グッドスマイルBMWが制した。

#### ■本島監督コメント



昨日、大事なところでトラブルが出てしまい残念でしたが、またドライバーに助けられました。もちろんこの暑い中、メカニックも良く頑張ってくれました。チームの力強さをあらためて感じた1日です。次回、菅生も頑張ります。

#### ■山野 哲也 コメント



セパンは自分自身でも入賞率の最も高いサーキット。またレガシィB4に向いているとも思っていたことから、表彰台を狙うべく現地入りしました。しかし BMW、フェラーリなど、FIA-GT 勢が圧倒的に速く、厳しい展開となりました。予選でギアボックストラブルがあり、実質17番手からのスタートとなりましたがレースは順調に進みました。チームの作戦もよく、結果的に8位までジャンプアップすることができ、総合力の高さを見せることができたと思います。SUGO、鈴鹿に向けさらなる進化を見せることができるよう、全員参加でチーム力を上げていく必要を感じたマレーシアラウンドでした。

#### ■佐々木 孝太 コメント



セパンは、LEGACY B4 には比較的合うのではと思っていましたが、思いの外、FIA-GT の速さに太刀打ち出来る状況ではありませんでした。そんな状況の中、今回も最後の最後まで FIA-GT 勢と戦う為のセッティングを探し続けました。予選は大事な場面でマシントラブルが発生し 17 番手と下位に沈みましたが、決勝ではスタートで 10 番手まで上がる事が出来ました。決勝時の車両のバランスが悪くなかったことを考えると、予選のトラブルが残念です。次戦 SUGO までには、鈴鹿でのテスト走行もあるので、そこで流れを変えていきたいと思っています。

決勝の詳細に関しては SUPER GT ホームページ <http://supergt.net/jp/>  
また SUBARU モータースポーツニュース <http://www.subaru-msm.com/news/> もご覧ください

2011年6月19日  
SUBARU LEGACY B4  
TEAM アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net